

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科： 国語 科目： 言語文化 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1・3・5組：水島 ）（2・4・6組：佐藤遼 ）

使用教科書：（ 大修館書店「新編 言語文化」 ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】

生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】

我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重して能力の向上を図る態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 単元 読む「漢字と仮名の使い分け」（随筆） 【知識及び技能】我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】文章の構成、展開を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】自らの言語感覚を磨く。	・指導事項 日本と外国での桜の感じ方の違いを整理させる。筆者の桜への思いをまとめさせる。 ・教材 教科書、ワークシート ・ICTパソコンの活用			○	【知識及び技能】 日本語の表記の特色を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成、展開を捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 自らの言語感覚を磨いたり、語彙を増やそうとしたりしている。	○	○	○	6
	B 単元 「古文に親しむ」 古文入門 【知識及び技能】 歴史的仮名遣いを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 音読により、古文のリズムを体感する。 【学びに向かう力、人間性等】 古文に親しむ。	・指導事項 歴史的仮名遣い、文語の決まりを確認させる。名作の冒頭を音読させ、リズムを体感させる。 ・教材 教科書、ワークシート ・ICTパソコンの活用		○		【知識及び技能】 歴史的仮名遣い、文語の決まりを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 音読により、古文のリズムや表現の特徴をつかんでいる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで古文を音読しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
	C 単元 読む「児のそら寝」（説話） 【知識及び技能】 歴史的仮名遣いに慣れる。 【思考力、判断力、表現力等】 説話の面白さを読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 設問にそって説話の内容を読み取る。	・指導事項 本文と現代語訳の対応を確認させる、登場人物の心情を整理させる。 ・教材 教科書、単語帳、ワークシート ・ICTパソコンの活用			○	【知識及び技能】 本文と現代語訳の対応を理解している。児の心情表現を挙げ、心情を解釈できている。 【思考力、判断力、表現力等】 説話のストーリー展開をとらえている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで古文を音読し、内容を読み取ろうとしている。	○	○	○	6
	D 単元 読む「詩歌の調べ」 【知識及び技能】 短歌、散文の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 表現から適切に情景を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 詩歌を味わい、作者の思いや情景を鑑賞する。	・指導事項 詩歌を音読し、内容全体を把握させる、表現の効果やリズムを確認させる。 ・教材 教科書、ワークシート ・ICTパソコンの活用		○		【知識及び技能】 短歌、散文の表現の特徴を理解し、作者の心情をまとめることができている。 【思考力、判断力、表現力等】 表現から適切に情景を捉えられている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで詩歌を鑑賞し、創作しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1

